

発行 水橋地区学校統合推進委員会
(水橋中部地区センター内)

令和3年度に設立した水橋地区学校統合推進委員会（以下、「統合推進委員会」）の活動が3年目を迎え、今年度は「体操服」や「スクールバス」を中心に議論を進めてきました。

今回のニュースレターでは、令和5年度に市及び市教育委員会から報告があった内容や統合推進委員会の活動内容等について、保護者や地域の皆さんにお知らせします。

■水橋地区義務教育学校の校名決定（令和5年4月3日）

令和5年1月に統合推進委員会から市教育委員会に対し、「水橋学園」、「みずはし学園」、「水橋虹の杜学園」、「水橋小中学校」の4案を校名候補として要望した後、令和5年4月に藤井市長の記者会見にて、水橋地区義務教育学校の校名を「富山市立義務教育学校 水橋学園」とすると発表がありました。

藤井市長から校名の選定理由として、「水橋地区のすべての小・中学校が統合し、唯一の学校となることから、水橋地区の象徴として地区の名称を、そのまま校名とすることは地域住民にとって愛着を持ち易く、また、他地区の方々からもわかり易い校名となる」といった説明がありました。

■通学路の安全対策等に関する要望書提出（令和5年4月25日）

昨年度から統合推進委員会にて議論を進めていた水橋学園開校に伴う通学路の安全対策等について、関係各所（県、県警、市、市教育委員会）に危険箇所等の整備を求める要望書を提出しました。

※詳細の要望内容については、令和5年3月に発行したニュースレター第2号をご参照ください。

■水橋学園の校章決定（令和5年8月24日）

市教育委員会から水橋学園の校章が決定したと発表がありました。校章デザインの選定には、統合推進委員会開校準備部会の鹿熊部会長が携わり、鹿熊部会長からは「水橋地区にふさわしいデザインを選定することができ、非常に満足している。」とコメントがありました。

1 校章のデザイン及びコンセプト



ーコンセプトー

水橋学園の「水」をモチーフにし、先進的で、柔軟な教育を行う学園であることを、緩やかな曲線とブルーのグラデーションで訴求します。

寄り添う3つのパーツは、住民・行政・民間が一体となる様を表現しています。

中心の縦線は、水橋を流れる白岩川をイメージし、水橋学園が未来への大海原へ向かう子どもたちに「生きる力」を培う学校教育を推進する学舎であることを伝えます。



大海原へと流れる川をイメージ



水橋の「水」

2 作成者

墨田 智美 氏（株式会社バランス所属）

3 選定経過

- ・市から、公益社団法人富山県デザイン協会に対し、校章デザイン作成業務を委託した。
- ・同協会において、デザインコンペを実施し、応募作品47点（法人41点、個人6点）の中から、同協会主催の審査会を経て、優秀作品3点が市教育委員会事務局に提出された。
- ・市教育委員会事務局は、水橋地区住民代表者、有識者及び行政関係者が出席する校章選定に関する会議を開催し、出席者の意見を踏まえ、上記作品の採用を決定した。

■水橋学園の基本設計に関する説明会（令和5年9月21日、10月17日）

水橋学園の整備を行う事業者であるセブンプライド株式会社及び市教育委員会から、水橋地区住民を対象とした地元説明会（水橋会館にて開催）や統合推進委員会（相山ホールにて開催）の場において、水橋学園の基本設計に関する説明がありました。参加者からは、「体育館に空調を設置してほしい、駐車場の台数を確保してほしい、工事中の大型車両通行に伴う安全対策を徹底してほしい」といった意見がありました。

1 施設整備イメージ（市教育委員会提供）



※北西側からの全体図

※その他の施設整備イメージは本ニュースレターの裏面に掲載

2 事業者

セブンプライド株式会社

代表企業 日本海建興株式会社

構成企業 石坂建設株式会社、近藤建設株式会社、株式会社三四五建築研究所、
富山総合ビルセンター株式会社、株式会社福見建築設計事務所

■先進地視察（令和5年11月8日・9日）

水橋学園の整備に際し、地域からの要望事項として修正及び追加する機能を調査し、事業者から提案のあった設計内容に反映させるため、県外の先進地を視察しました。

1 視察先

- 名取市立閑上小中学校（宮城県）
主な調査事項：学校施設の防災機能について
- 富士見市立鶴瀬小学校（埼玉県）
主な調査事項：体育館のLPガス空調について



2 参加者

統合推進委員会 押田顧問、水橋中部自治振興会 高柳会長、水橋西部自治振興会 花井会長、上条自治振興会 鹿熊会長、市教育委員会事務局職員

3 参加者所感（紙幅の都合上、抜粋して掲載しております）

閑上小中学校に着いて最初に感じたことは校舎の出入り口を覆う「エントランスモール」である。富山のように曇天率が高い地区にはかなり有効であろう。また、地域と連携し「夏祭り」「PTA親子行事」などに利用しており、かなり好評とうかがった。子供たちにとっても、スクールバスに乗る際や玄関先での傘の開閉による危険性も減る。一考に値する有効な施設だと感じた。

次に、学校に避難設備が充実している点が際立っている。外部階段が2か所あり、住民には災害時にどのようにして施錠を解除できるのかを周知している。いたずらで上がる人間よりも「いざというときに住民の命を守るもの」という視点での運用とのこと。この姿勢は、マイナス面を集める手法ではなく、プラス面を前面に押し出しており、好感触を得られる。

鶴瀬小学校はR4年度にLPガスによるガス空調を体育館に設置した。富山市には、体育館に空調機器が設置されている小中学校はないと聞いている。R4年10月に開館した水橋会館にはLPガスによる冷暖房空調が設置された多目的ホール（体育館機能完備）がある。その利用者に話を伺うと、すべてが大好評である。

富士見市ではR6年度までに市内全小中学校に空調を設置予定と聞いた。富山市ではどうなのだろうか？まだ、そのような動きは聞いていないが、今後を考えると必要不可欠であろう。であれば、水橋学園には先陣を切って導入するべきだと考える。

水橋地区学校統合推進委員会顧問 押田 大祐

閑上小中学校は、東日本大震災に見舞われた地区でしたが、見事に復旧されていました。住民の声で、同じ場所で開校され、校舎は4階建てで、教室は2階以上でした。屋上は1千人が避難出来るようにしてありました。ちなみに今年度の児童数は434人で職員は60人です。

地域と共に歩む学校として4つの基本を重視されていました。1に閑上学、2に「つながり」、3に地域活動参加、4に幼児や高齢者との交流です。この様に特色があり、魅力ある学校づくりが功を奏したのか、児童数が年々増加していました。創立6年目で最初140人から3倍の人数になったそうです。内容は校区外が211人もいます。我が水橋学園も特色ある、魅力的な学園になって欲しいと思います。

水橋西部自治振興会長 花井 秋男

1. 防災教育の徹底：閑上小中学校

東日本大震災被災（2011年3月11日午後2時46分）の教訓を、防災マニュアルとして可視化し、教育指導要領に組み込んでいる。立派なマニュアルほど、劣化・形骸化し易く、定期的訓練を維持改善の機会とされていた。

1611年慶長三陸地震から400年後に再び起きた。名取市の壊滅状態は、筆舌に難しい。校舎に掲げてあった時計が、地震発生の時刻で止まった状態となっている事が、全てを物語っている。後世に伝えるべく、資料室に保管されていた。

2. 体育館冷暖房機能：鶴瀬小学校

学校施設の防災機能・災害時対応バルクは、災害時の避難所機能として重要な設備であり、採用すべきと確信した。停電時、自立型へ手動切替する事により、体育館の照明と電源コンセント利用そしてLPガス供給により調理等を可能にしている。

また、昨今の異常気象は通常となり、体育館のLPガス空調機能を活用し環境の変化に順応すべきである。

水橋中部自治振興会長 高柳 賢司

閑上小中学校は、H23年の震災による津波によって、甚大な被害にあった地域でした。学校も被害に遭ったため、近くの学校の校舎を使ったり、仮校舎の使用などで、H30年の開校までずいぶん苦労されたようです。新しい学校の校舎と体育館の間の広場の上には、エントランスモールと呼ばれる大きな屋根がかかっていました。こういうものがあれば、雨や雪の日も便利だと思いました。

また、屋上に一時避難所があり、屋外から建物内には簡単に入れるようになっていました。災害時に時間外でも、避難者の命を救うために、誰でも入れるようにとの考えで、何かあればその時に対処していくとのことでした。水橋学園も、ぜひ取り入れてほしいと思いました。

鶴瀬小学校は、体育館にLPガスによる空調設備が設置されているのが特徴でした。停電の時は、LPガスで発電しますので、あえてLPガスにされたようです。富士見市では、R6年度まで全ての小中学校の体育館に空調設置の予定です。水橋学園にも、モデル校として、体育館にぜひ、空調設備の設置をお願いします。

今回の視察は、水橋学園開校前の参考として参加しましたが、たくさんの発見があり、今後に生かしていきたいと思います。

上条自治振興会長 鹿熊 兼一

■開校準備部会の活動

開校準備部会では、小中学校や保育所等に通うお子さんの保護者を対象に、水橋学園で着用する体操服のデザインについてアンケート調査を実施し、その結果を踏まえデザインを決定しました。その他、水橋学園の校歌作曲者を選定するため、現在、開校準備部会において議論を進めています。

1 体操服のアンケート調査結果

| | |
|--------|--|
| 【対 象】 | 水橋地区の小学校、中学校、幼稚園、保育所、認定こども園に通学（園）するお子さんがいる家庭の保護者 |
| 【回答期間】 | 令和5年7月13日～23日 |
| 【回答方法】 | 学校（園）を通じてアンケート依頼文を配付。QRコードを読み取り、インターネット上で回答。 |
| 【回答者数】 | 372人（通学（園）する子どもの人数 587人） |
| 【結 果】 | 回答者372人のうち、140人が以下のデザインを第1希望として投票（次点のデザインには116人が第1希望として投票） |

2 体操服のデザイン決定

【半袖】



【長袖】



3 その他

- 新体操服を着用するのは、水橋地区の各校に令和6年4月以降に入学する新小・中学1年生からとする。（在校生は新体操服又は既存の体操服のどちらを着用してもよい。）
- 半袖トレシャツは、白色又は紺色のどちらを着用してもよい。
- 新体操服は令和5年12月以降に販売を開始する。
- 体操服には個人名を入れずに販売する。なお、各校で名入れが必要な場合は保護者へ別途案内する。
- 当面の間、体操服に校名や校章は入れずに販売する。

■交通安全部会の活動

交通安全部会では、スクールバスの運行（案）を中心に議論を進めてきました。市教育委員会からは、スクールバスの運用（素案）（右頁参照）が示されましたが、部会の中で、「乗降場所を増やしてほしい、スクールバスの対象範囲を拡大してほしい」といった意見があったことから、今後、各校PTAの意見を集約し、交通安全部会としての修正案を市教育委員会に提示することとしました。

(参考) 市教育委員会素案 (決定されたものではありません)

1 水橋学園の通学手段に係る仮定条件

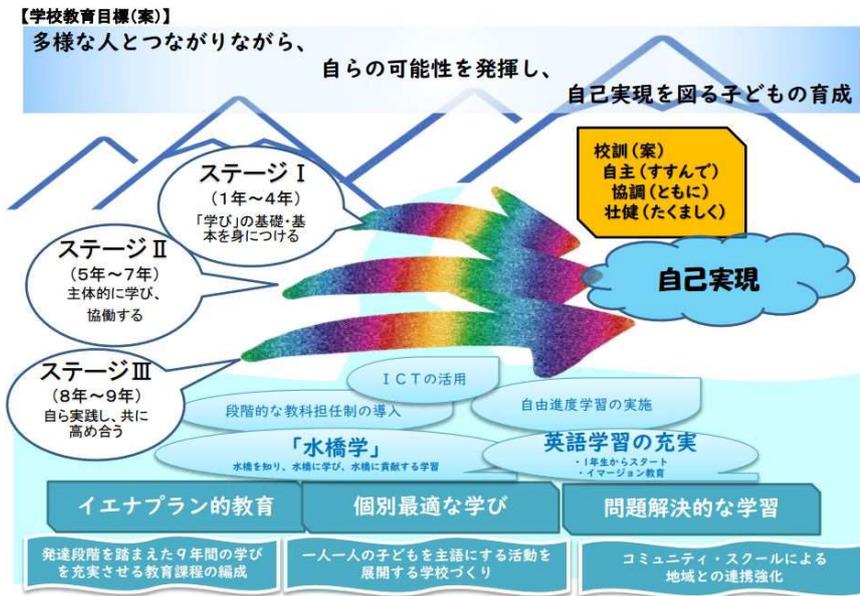
| 学年 | 自宅から水橋学園までの道のり | | |
|-------------|----------------|----------|----------|
| | 1.5km 未満 | 1.5km 以上 | 2.5km 以上 |
| 1年生～ 2年生 | 徒歩 | スクールバス | |
| 3年生～ 6年生 | 徒歩 | | スクールバス |
| 7年生～ 9年生 | 自転車 | | |

2 スクールバスの乗降場所

| No. | 乗降場所 |
|-----|------------|
| 1 | 水橋中部地区センター |
| 2 | 水橋西部小学校 |
| 3 | 水橋東部小学校 |
| 4 | 三郷地区センター |
| 5 | 越中三郷駅 |
| 6 | 旧上条小学校 |

■学校経営部会の活動

学校経営部会では、昨年度に引き続き、水橋学園における全体構想（グランドデザイン）や学校行事等の検討を行いました。また、令和8年度の開校に向け、水橋地区各校の事前交流活動の検討を進めています。



※現在、検討を進めている水橋学園のグランドデザイン（案）
※グランドデザインとは、「学校の教育理念や果たすべき役割を描いた経営全体構想」を示したものの。

■PTA組織準備部会の活動

PTA組織準備部会では、水橋学園の基本設計の中で、子ども会の開設場所等が示されたことから、具体的な水橋学園開校時の子ども会の在り方・運営について検討することとしました。

そのため、まずはワーキングチームを設置すると同時に、現行の子ども会指導員やPTA等関係者から、子ども会に関するご意見・ご要望等について、ヒアリングを進めています。

(参考資料) 各地区子ども会の状況

| 校区 | 開設場所 | 対象児童 | R5年度登録児童数(人) | R4年度平日平均利用児童数(人) | R5年度5月未平日平均利用児童数(人) | R5年度登録指導員数(人) | 平日 | | | | 土曜日 開設時間 (開設日数) | 振替休業日 開設時間 (開設日数) |
|------|----------------------------|------------------|--------------|------------------|---------------------|---------------|-------|----------------|----------------|----------------|--------------------------|-------------------------|
| | | | | | | | 終了時間 | 春休み 開設時間 | 夏休み 開設時間 | 冬休み 開設時間 | | |
| 水橋中部 | 水橋中部小敷地内 (専用施設) | 1～6年生の 留守家庭児童 | 62 | 25 | 35 | 8 | 18:00 | 8:00 ～18:00 | 8:00 ～18:00 | 8:00 ～18:00 | 8:00 ～18:00 (1,2日) | 8:00 ～18:00 (4日) |
| 水橋西部 | 水橋西部小 体育施設内 | 1～3年生の 留守家庭児童 | 52 | 18 | 20 | 14 | 18:00 | 8:00 ～18:00 | 8:00 ～18:00 | 8:00 ～18:00 | 14:00 ～19:00 (1日) | - |
| 水橋東部 | 水橋東部小 体育館キャパ、 多目的室 | 1～6年生の 全児童 | 35 | 24 | 23 | 5 | 16:30 | - | - | - | - | 8:30 ～12:30 (3日) |
| 三郷 | 三成小 体育施設内 (専用室) | 1～6年生の 全児童 | 88 | 36 | 38 | 6 | 17:30 | 9:00 ～17:00 | 9:00 ～17:00 | 9:00 ～17:00 | - | - |
| 上条 | 上条地区 スクールバス待合所 (専用室) | 1～6年生の 留守家庭児童 | 31 | 14 | 20 | 7 | 17:30 | - | 8:30 ～17:30 | - | - | - |
| 合計 | | | 268 | 117 | 136 | 40 | - | - | - | - | - | - |

■水橋学園の整備イメージ図（市教育委員会提供）

○施設全景（南西側からの全体図）



○図書室



○階段教室



○ランチルーム



○体育館

